

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業評価シート						令和 2 年度事後評価・決算		所管課		企画政策課		担当班	企画調整班	
事務事業名		コード	4650 デマンド交通運行事業		予算科目	会計		款	項	目	事業種別	事業種別		
施策体系	基本施策	29	公共交通網の整備		根拠法令	一般		2	1	10		企画調整班		
	施策の展開	63	公共交通の確保		戦略事業	260		デマンド交通運行事業				企画調整班		
	施策の展開				戦略事業							企画調整班		
												☒ 主な事業（重点施策）	重4	
												☐ 国土強靱化地域計画		
												☐ 新市建設計画		
												☐ 定住自立圏構想		
												☒ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 令和 2 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	高齢者等の交通弱者といわれる方々の交通手段を確保し、市民の積極的な社会参加及び公共交通の充実を図る。 旭市を旭南、干潟・旭北、海上飯岡の3つの運行区域に分け、運行区域内で同じ時間帯に予約した人と相乗りしながら目的地に向かう、乗り合い型のタクシー。市役所、旭中央病院等一部利用者の多い施設についてはどの区域からでも目的地として設定可能。 運賃：500円（障害者等400円、未就学児無料） 運行事業者：(有)丸運タクシー、旭タクシー（株）、アステル交通（株）	市内に一部残る交通空白地域は、公共交通の需要も小規模で分散していることから、他の交通事業が成立しにくい状況になっている。また、超高齢化社会を迎える中で、近くにバス停等がある地域でも移動が困難な高齢者の増加が懸念されている。このことから当事業を行い交通弱者の移動手段を確保する。	事業開始して1年がたったが、今後当事業を改善や拡大等検討していく中で一般のタクシー事業との機能の重複。	区域外の施設等への運行の希望。区域外の介助者からの利用希望。予約期限の延長。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (2年度の決算)	単位:千円
1.報酬	4,755 予約センター会計年度職員
2.需用費	52 消耗品費
3.委託料	11,926 運行委託料
4.使用料及び賃借料	1,146 システム機器賃借料
5.その他	709 期末手当、費用弁償
② 特定財源の内訳 (2年度の決算)	単位:千円
1.国庫支出金	0
2.都道府県支出金	0
3.地方債	0
4.その他	0

事業費	費目内訳	単位	29年度 (決算)	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (予算)
事業費	1. 報酬	千円				4,755	4,896
	2. 需用費	千円			462	52	55
	3. 委託料	千円			761	11,926	11,685
	4. 使用料及び賃借料	千円				1,146	1,146
	5. その他	千円			693	709	1,108
事業費計 (A)		千円			1,916	18,588	18,890
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円			1,916	18,588	18,890

前年度増減理由	前年度は準備期間であり、令和2年度にデマンド交通運行開始したため。
---------	-----------------------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 2 人 × 10 日 = 延べ 20 人

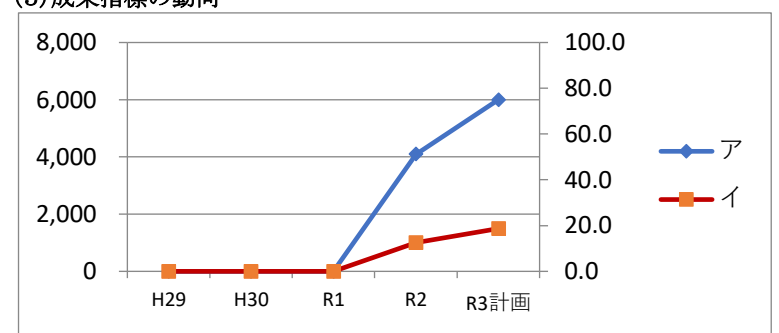
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動) ・デマンド交通運行事業開始。 ・新たに新庁舎が完成するため、共通乗降場所としての登録準備。 ・総合公共交通マップへの掲載。 ・各乗降施設の更新。	ア 年間運行便数	便				2,939	5,808
		イ						
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
目的	対象 市民(主に交通空白地域の交通弱者) 意図 通院、買い物、公共施設の利用等ができるようになり生活の活動域が広がる。 対象 意図	ア 年間利用者数	人				4,096	6,000
		イ 収支率	%				12.5	18.7

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	①	コスト比率
		かなりある			下位 1/3
大きい	①		①	(3)	中位 1/3
	普通				上位 1/3
小さい	②		②		③
	③				④⑤
	④		③		⑥
	⑤				⑦⑧
	⑥		④		⑨
	⑦				
	⑧		⑤		
	⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況														☐ 完了		☒ 順調		☐ 概ね順調		☐ 停滞		☐ 実施困難	
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)																						
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	成果動向	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度							
			成果指標イ			数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画								
	【コメント】 (低下の場合、その理由)										ア	0	0	0	4,096	1,904							
										イ	0.0	0.0	0.0	12.5	6.2								
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容							今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止		☐ 見直し ☐ その他()								
		R3.4～R4.3	来年度完成予定のみらいあさひを共通乗降場所として登録準備。 運行事業者の区域運行のローテーションの検討。										地域公共交通再編実施計画等に基づき、評価・検証を行い、利用しやすく将来にわたり持続可能な事業を目指す。										